

あ行・か行

青柳の お種荷様に 手を合わす	いにしへの 目隠坂に 夢はせる	梅の花 くにたちを示す 市のマーク	江戸街道 おもかけ残す 庚申塚	おながどり ひらり木の上 谷保天神	さくら通り 春は少女の 頬の色	静かなる 歴史が眠る 南齋寺	すずめ住む 緑のくにたち 守りたい	せみいっばい 坂道にある ボンコえん	空あおく シジュウカラ鳴く 秋の里
-----------------------	-----------------------	-------------------------	-----------------------	-------------------------	-----------------------	----------------------	-------------------------	--------------------------	-------------------------



あ 青柳の「お種荷様に手を合わす」は、江戸時代、お種荷様に手を合わすという習慣があった。お種荷様は、お種荷様に手を合わすという習慣があった。お種荷様に手を合わすという習慣があった。

い にしへの「目隠坂に夢はせる」は、いにしへの目隠坂に夢はせるという習慣があった。いにしへの目隠坂に夢はせるという習慣があった。

う 梅の花「くにたちを示す市のマーク」は、梅の花のくにたちを示す市のマークという習慣があった。梅の花のくにたちを示す市のマークという習慣があった。

え 江戸街道「おもかけ残す庚申塚」は、江戸街道のおもかけ残す庚申塚という習慣があった。江戸街道のおもかけ残す庚申塚という習慣があった。

お おながどり「ひらり木の上谷保天神」は、おながどりのひらり木の上谷保天神という習慣があった。おながどりのひらり木の上谷保天神という習慣があった。

さ さくら通り「春は少女の頬の色」は、さくら通りの春は少女の頬の色という習慣があった。さくら通りの春は少女の頬の色という習慣があった。

し 静かなる「歴史が眠る南齋寺」は、静かなる歴史が眠る南齋寺という習慣があった。静かなる歴史が眠る南齋寺という習慣があった。

す すずめ住む「緑のくにたち守りたい」は、すずめ住む緑のくにたち守りたいという習慣があった。すずめ住む緑のくにたち守りたいという習慣があった。

せ せみいっばい「坂道にあるボンコえん」は、せみいっばい坂道にあるボンコえんという習慣があった。せみいっばい坂道にあるボンコえんという習慣があった。

そ 空あおく「シジュウカラ鳴く秋の里」は、空あおくシジュウカラ鳴く秋の里という習慣があった。空あおくシジュウカラ鳴く秋の里という習慣があった。

さ行・た行

風薫る 桜並木の 大学通り	きれいだな ママ下の木 気持ちいい	くにたちの 学びの村 公民館	元気な声 未来にひびけ 児童館	古民家の 涼風むかしに 思いはせ	滝乃川 天使のピアノ 響く園	地域で清掃 みんな自慢の 北大通り	つくろつよ 花いっばいの 国立市	手をとって 互いに支える ボランティア	とれたての くにたち野菜 おいしくて
---------------------	-------------------------	----------------------	-----------------------	------------------------	----------------------	-------------------------	------------------------	---------------------------	--------------------------



か 風薫る「桜並木の大学通り」は、風薫る桜並木の大学通りという習慣があった。風薫る桜並木の大学通りという習慣があった。

き きれいだな「ママ下の木気持ちいい」は、きれいだなママ下の木気持ちいいという習慣があった。きれいだなママ下の木気持ちいいという習慣があった。

く くにたちの「学びの村公民館」は、くにたちの学びの村公民館という習慣があった。くにたちの学びの村公民館という習慣があった。

け 元気な声「未来にひびけ児童館」は、元気な声未来にひびけ児童館という習慣があった。元気な声未来にひびけ児童館という習慣があった。

こ 古民家の「涼風むかしに思いはせ」は、古民家の涼風むかしに思いはせという習慣があった。古民家の涼風むかしに思いはせという習慣があった。

た 滝乃川「天使のピアノ響く園」は、滝乃川天使のピアノ響く園という習慣があった。滝乃川天使のピアノ響く園という習慣があった。

ち 地域で清掃「みんな自慢の北大通り」は、地域で清掃みんな自慢の北大通りという習慣があった。地域で清掃みんな自慢の北大通りという習慣があった。

つ つくろつよ「花いっばいの国立市」は、つくろつよ花いっばいの国立市という習慣があった。つくろつよ花いっばいの国立市という習慣があった。

て 手をとって「互いに支えるボランティア」は、手をとって互いに支えるボランティアという習慣があった。手をとって互いに支えるボランティアという習慣があった。

と とれたての「くにたち野菜おいしくて」は、とれたてのくにたち野菜おいしくてという習慣があった。とれたてのくにたち野菜おいしくてという習慣があった。

な行・は行

流れゆく、 矢川はホタルの 光る道	日本初 キワイ栽培 発祥地	ぬしはだれ 城山の中 虫さがし	願いと 成績あがれ 谷保天で	農業展 高くつみあげ 宝船	まち火消し 伝統受け継ぐ 出初式	見晴らしは どこにも負けぬ 富士見台	むらさきや ピンクに染まる 朝顔市	目印は ヒマラヤ杉の 小学校	もぎとった 多摩川梨を 全国へ
-------------------------	---------------------	-----------------------	----------------------	---------------------	------------------------	--------------------------	-------------------------	----------------------	-----------------------

									
---	---	---	---	--	---	---	---	---	---

① 矢川はホタルの光る道
② キワイ栽培の発祥地
③ ぬしはだれ
④ 願いと成績あがれ
⑤ 農業展
⑥ まち火消し
⑦ 見晴らしは
⑧ 朝顔市
⑨ 目印は
⑩ 多摩川梨を

ま行・や行

はるばると 今年も飛び来る ツバメたち	一橋 歴史をささぐ 兼松講堂	福祉会館 誰らいはすむ なごみの湯	平和都市 アンネのバラが 咲き誇り	穂が実り 谷保の田んぼに 秋の風	谷保・矢川 走る電車が 南武線	夢紡ぐ 学舎多き 文のまち	横顔の ピノキオに似た 国立市
---------------------------	----------------------	-------------------------	-------------------------	------------------------	-----------------------	---------------------	-----------------------

							
---	---	---	---	--	---	---	---

⑪ はるばると
⑫ 一橋
⑬ 福祉会館
⑭ 平和都市
⑮ 穂が実り
⑯ 谷保・矢川
⑰ 夢紡ぐ
⑱ 横顔の
⑲ 国立市

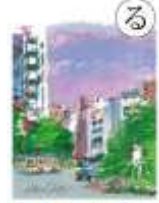
蝶^か旋^{せん}坂^{さか}
のほつてお花見^{はなみ}
歩道橋^{ほどうきょう}

リサイクル
ゴミを減らして
再資源^{さいしゆげん}

瑠璃色^{るりいろ}に
空が輝^{きら}く
旭通り^{あすどおり}

連山^{れんざん}が
夕日^{ゆふひ}に映^かえる
石田大橋^{いしだおほはし}

露地野菜^{ろぢやさい}
くにたち産^{くにたち}の
ほうれん草^{ほうれんそう}



⑤ 田舎^{いなか}の風景^{けいざい}を
⑥ 自然^{しぜん}の美^{うつく}しさを
⑦ 伝統^{でんとう}の文化^{ぶんか}を

⑧ 自然^{しぜん}の美^{うつく}しさを
⑨ 伝統^{でんとう}の文化^{ぶんか}を

⑩ 自然^{しぜん}の美^{うつく}しさを
⑪ 伝統^{でんとう}の文化^{ぶんか}を

⑫ 自然^{しぜん}の美^{うつく}しさを
⑬ 伝統^{でんとう}の文化^{ぶんか}を

⑭ 自然^{しぜん}の美^{うつく}しさを
⑮ 伝統^{でんとう}の文化^{ぶんか}を

ら 行 ・ わ ・ を ・ ん

わいわいと
にぎわう祭り^{にぎわうまつり}
天下市^{あまのいち}

をちかたに
富士山^{ふじさん}をのぞむ
富士見通り^{ふじみどおり}

んとこしよ
多摩園坂^{たまたおんざか}は
富士見^{ふじみ}える



① わいわいとにぎわう祭り
② 天下市

③ をちかたに富士山をのぞむ
④ 富士見通り

⑤ んとこしよ多摩園坂は富士見える



くにたちカルタ

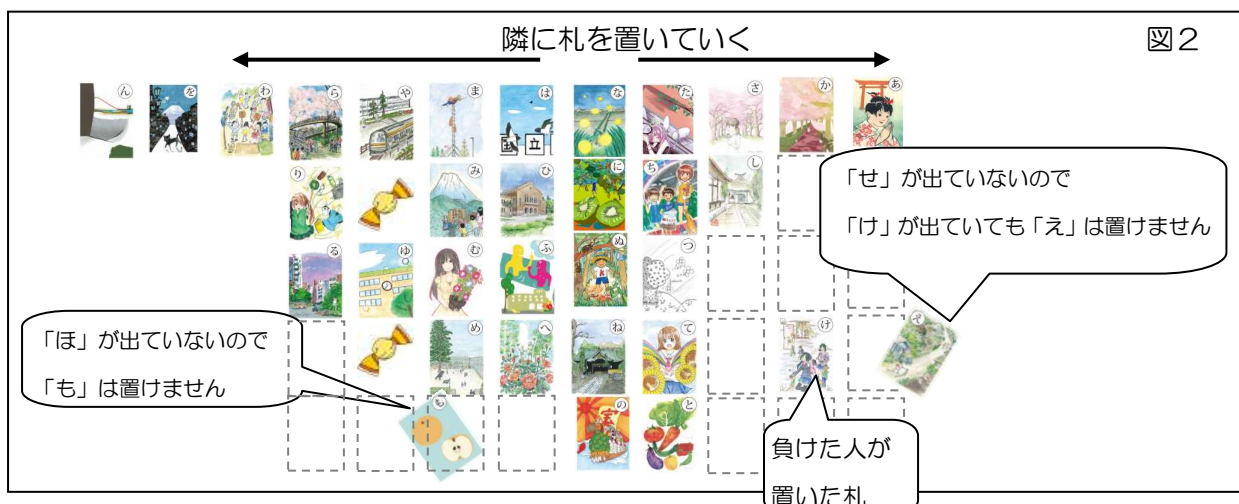
競技カルタ以外の遊び方

☆普通のカルタ遊びに飽きたら☆



① な並べ (トランプの“7ならべ”に準じます)

人数	3～5人位まで
使用する札	絵札46枚
配り方	全部の絵札を全員に配ります 人数の都合で手札の枚数に差が出てかまいません
遊び方	<p>全員が自分の手札を調べて、“な行”の札があったら、場に出します “な に ぬ ね の”の札は、たて一列に並べて、その左右に5枚ずつ並べられるだけのスペースを空けておきます(図1)</p> <p>全員でじゃんけんをして、勝った人から時計回りの順に手札を1枚ずつ場へ出していきます</p> <p>この時、場に出ていつ札に隣合わせた文字の札しか出してはいけません もし、手札の中に出せる札がなければ「パス」と言います パスは3回までで、4回目のパスをしたら負けです 負けた人は、手札を全部場に並べます</p> <p>“や行”は、“や ゆ よ”しかないので、“み め”が出たら隣に予備の白札(菓子や消しゴムなどでも良い)を置くと、続く“り れ”が出しやすいでしょう(図2)</p> <p>早く手札がなくなった人が勝ちです</p>





くにたちカルタ

競技カルタ以外の遊び方

☆ “ひらがな” を覚えてたてのお子さま向き ☆



②重ねて な並べ

人数	3～5人位まで
使用する札	絵札 46枚 読み札46枚
配り方	最初に、場に読み札を並べて五十音表を作っておきます。 全部の絵札を全員に配ります。 人数の都合で手札の枚数に差が出てかまいません。
遊び方	遊び方は『な並べ』と同じで、絵札を同じ文字の読み札の上に重ねていきます(図3)。 “や行”は、“や ゆ よ”しかないので、“み め”が出たら隣に予備の白札(菓子や消しゴムなどでもよい)を置くと、続く“り れ”が出しやすいでしょ。

隣に札を置いていく

図3

読み札を並べておきます

絵札を同じ文字の読み札の上に重ねていきます

